

平成 26 年 7 月 15 日 こども未来課

## 第 5 回新潟市子ども・子育て会議放課後児童クラブ検討部会 概要

日時：平成 26 年 5 月 23 日（金）

場所：新潟市役所第 1 分館 1 - 601 会議室

議事内容	<p>(1) 国の基準省令と新潟市の条例に定める基準について</p> <p>(2) 放課後児童健全育成事業見込量の算出方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から内容を説明し、意見交換を行う。委員の主な意見は下記のとおり</li> </ul>
委員の主な意見	<p>(1) 国の基準省令と新潟市の条例に定める基準について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの放課後の居場所確保には、地域の協力と理解も必要である。</li> <li>空白地域を作らない、全地域にわたる健全育成事業が必要。</li> <li>保護者と子どもと一緒に過ごすことは大事であるが、女性の就労が求められる時代。時間延長が可能な文言を条例に入ることが必要ではないか。</li> <li>現在のガイドラインは、高学年受入れが決まる前のもの。高学年は体格が大きくなることを考慮しなければならない。</li> <li>利用人数の捉え方について、ピークの時はどうなるのか。整理しておく必要がある。</li> <li>条例の大枠が整ってきたが、事業運営の実態と条例の基準との乖離をチェックしていく必要がある。</li> <li>子どもたちの育ちの部分が関わってくるので、時間延長となったとしても、職員の質を向上させるために、労働条件の改善や研修の充実が必要。</li> <li>高学年受入れ、障がい児への配慮などフォローする体制作りが必要。</li> <li>保護者が子どもと向き合う時間は非常に大切であり、社会の仕組みがそのことを大切にす る方向へ向かうことが必要。</li> <li>支援員の資格を明記し、員数を定めることで質が担保できる条例となる。</li> <li>ひまわりクラブの施設を整備したことなどが、地域に伝わっていないことがある。地域へ 報告する仕組みが大切。</li> </ul> <p>○パブリックコメント（案）について部会の議論を受けて修正し、5月27日に各委員に確 認いただき、6月3日に部会（案）を確定。6月4日、子ども・子育て本体会議へ報告。</p> <p>(2) 放課後児童健全育成事業見込量の算出方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区毎に算出すると区の特徴が見えてくる。</li> <li>現状を捉えた場合の数値なので、毎年最新のデータに基づいて、見込み量を更新し、把 握していくことが必要である。</li> </ul>

平成26年7月15日 こども未来課